

教科	科目	単位数	学年	集団
体育	スポーツVI	1	3	スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
なし	アクティブスポーツ（大修館）

科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2) 体づくり運動における自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えることが出来る。 (3) 体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与しようとしている。
--

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	学習では、トレーニングを行う上での基礎知識として身体の構造や仕組みについて理解している。ゲーム（ダブルス・シングルス）の戦術・戦略を実践することができる。ライフステージに合わせた運動を実践できる知識、技能を身につけている。
②思考・判断・表現	自己の課題を解決するとともに、課題の設定や情報の分析、活動の振り返り、目標の修正や練習計画の組み立てなどが出来る。ゲーム（ダブルス・シングルス）において、戦略・戦術を考え・話し合い・実践に繋げる力を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	体力の高め方等、合理的な練習法や練習計画の立て方、課題解決の方法を理解しようとしている。ライフステージに応じた運動の計画を立て、取り組もうとしている。
評価方法	
①知識・技能（チェックテスト） ②思考・判断・表現（行動観察・振り返りシート） ③主体的に学習に取り組む態度（行動観察・振り返りシート） <input type="checkbox"/>	

学習計画						
月			単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	バドミントンの理解（ダブルス・シングルス） 基本動作（フォーム・フォアハンド・バックハンド・） シャトルの打ち方 構え・動き方・ポジショニング		体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力や生活に応じて継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようになる。 気付き、交流、体力の視点を踏まえて、自己のねらいに適した運動を選び、実生活に役立てることができるようになるとともに、他者のねらいに応じた運動を組み合わせた、共に運動したりすることができるようにする。 地域社会等での活動で、目的に応じた運動を選び、提案したり共に運動したりすることができるようにする。			
5	テニスの理解 基本動作（フォーム・フォアハンド・バックハンド・） テニスボールの打ち方、体の使い方 構え・動き方・ポジショニング			○	○	○
6						
7						

9	バドミントン ダブルス・シングルのゲーム 戦術・戦略の考察・反復練習 振り返り		のびのびとした動作で用具などを用いた運動、リズムに乗って心が弾むような運動、緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動、いろいろな条件で歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動、仲間と協力して課題を達成するなど集団で挑戦するような運動を用いて、気付いたり関わり合ったりするとともに、扱いやすい用具や動きやすいリズムに変えたり、みんなができる運動にしたりするなどして、多様な楽しさに触れることができる。			
10	テニス ダブルス・シングルのゲーム 戦術・戦略の考察・反復練習 振り返り		生涯を通してスポーツの推進及び発展に関わることができる。ねらいに応じて、手軽な運動を組み立て、異年齢に対する簡単な指導や普通科の生徒等を対象とした簡単な指導ができる。	○	○	○
11						
12						
1	バドミントン ダブルス・シングルのゲーム 戦術・戦略の考察・反復練習 振り返り		ライフステージの各段階や生活の仕方に応じたライフスタイルがあることを理解し、それぞれに応じた体操や運動の計画を立てることができるようにするとともに、異なるライフステージやライフスタイルに応じた体操や運動の計画を提案することができるようにする。	○	○	○
2	テニス ダブルス・シングルのゲーム 戦術・戦略の考察・反復練習 振り返り					
3						